

ジャングルでランブル※

※ランブル=ごろごろ、がらがらなど、雷などのとどろく音。

対象項目

コミュニケーション、学力、認知、感覚運動、社会性、演奏/レクリエーション

スキル領域

聴覚認知、言語受容、非言語コミュニケーション、シークエンシング、集中力、粗大運動、感覚の統合、順番を交代する/衝動のコントロール、創造力/即興能力、レクリエーション

目標

参加者は、

1. 交代でドラムを叩いて、マレットを渡すことを学ぶ。
2. 他の人の動きをどうやってまねするかを理解する。
3. つなげて流れにすること、創造力が向上する。
4. マレットでロールして、チームでランブルする方法がわかる。
5. 安定したテンポのビートでそろって演奏できるようになる。

目的

このレッスンを通じて、参加者は次のことができるようになります。

1. ボディーランゲージやアイ・コンタクトの合図による指示に従うことができる。
2. オリジナルな動きのつくり方を理解する。
3. 「ランブル」※という言葉での指示に従う。
4. ドラムロールができるようになる。

ドラムテーブル アクティビティ
シリーズ – レッスンプラン
発達障害及び自閉症の生徒対象

レッスン 8



教材

■レモ CST ドラムテーブル 40”
マレット 1人2本ずつ
※レモ CST ドラムテーブル 30”、
22”でも可。その場合、人数の多い
グループでは交代して叩くよ
うにする。

■ドラムテーブルアクティビ
ティシリーズ

Videoレッスン 8

[comfortsoundtechnology.com/le
ssons](http://comfortsoundtechnology.com/lessons) (ウェブ無料公開)

音楽療法

公認の音楽療法プログラムを修了した信頼の置けるプロが療法の
一環として関わり、個々に設定された目標を達成するために
臨床的に証明された音楽の使用
を実施すること。

ご自身が認定音楽療法士である
か、認定音楽療法士と協力して
行う場合、付属資料「音楽療法
ガイドライン」を参考いただき、
対象者へのより深い機会の提供
にお役立てください。

準備

参加者はドラムを囲み輪になり、動くのに適度な間隔をとって座るか立ちます。必要な教材は全てそろえておきましょう。時間は15分、必要な場合はそれ以上とって行います。

レッスン

これから何をするか説明をします。説明はゆっくり簡潔にします。実際にやって見せ、その後に理解できているかきいて確認します。

1. 「ジャングルでランブル」という楽しいゲームの準備として、まずドラムロールを学ぶことを話します。ドラムロールをまずやってみせた後、みんなにも一緒にロールしてもらいます。必要に応じて生徒をヘルプしてください。ここではドラムロールが正確にできることが重要なのではなく、他の人の演奏を聞いて、同じことをしようとする事自体を目的とします。
2. マレットが速く弾むためには手首を柔らかくする必要があることを参加者に示します。みんなでドラムロールをすることがわかったところで、みんなで一斉にロールするとランブルみたいに聞こえることを説明します。あたかもジャングルにいる象の咆哮のように。
3. 次に、ジャングルにどんな動物が生息しているか訊きます。言葉のコミュニケーションに制限がある参加者の場合には、iPadで動物の画像を見せたり、プリントした絵を用いて、動物を思い出す助けにします。
4. 次に、体やマレットを使って、出てきた動物の真似ができるかききます。例：さいの牙、像の鼻。

応用編

1. ランブルのリーダー役は交代で選びましょう。
2. 参加者にランブルをリードする機会を与えましょう。
3. ドラムを使ってできそうなストーリーを他にも考えてみましょう。

参考情報

全米音楽療法協会

<http://www.musictherapy.org/>

The ComfortSound

<http://www.thecomfortsound.com/>

REMO, Inc.

<http://remo.com/>

著作権

本印刷物の著作権は以下の個人、会社に帰属します。

内容の一部、または全部を無断転載することを固く禁じます。

著者：ジョージ・トンプソン

George Thompson

ミュージック&パフォーミング
アーツディレクター (TERI, Inc)

協力：テリー・ウィナー

Terri Wiener

MT-BC 米国認定音楽療法士
音楽療法士 (TERI, Inc)

Remo, Inc.